

経年劣化によるドルフィンの損傷を短期間で復旧した事例

設計・解析技術

海洋工事技術

ICT

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事技術

お客様のメリット

- 水中部の基礎工を再利用して復旧するため、既施設と同じ位置に復旧が可能です。
- ユニット製作した上部工を据え付けるため、工程の短縮が可能です。
- 再利用できる部材の有効活用によりコスト縮減が可能です。

技術の特徴

海中部の健全な基礎杭は残し、損傷した上部工を撤去します。新たにユニット作成した外挿管・結構材を起重機船で既設杭に外挿して据え付け、杭内にグラウトを打ち込んで一体化させた後、ステージや防舷材を設置しました。適用工事では、防舷材を再利用して有効活用しました。



既設既設杭
ドルフィンの損傷状況



上部工撤去完了



外挿管・結構材



起重機船による据付（webカメラで挿管状況を確認）



復旧完了

損傷範囲を海中において切断・撤去後、新規杭と既設杭をグラウト充填により一体化し、必要な耐力を確保する工法を採用しました。

損傷範囲が土中に達している場合は、増杭による補修などが想定されます。

実績・事例

第2 栈橋南北主ドルフィン恒久補修工事